【保存版】
No.11
2017(平成 29 年)
10 月 15 日発行

熊 地 区
防災のお知らせ

熊地区自主防災会
防火・ 消火部

『火消し君』の操作留意点について

< 操作の留意点>

☆大声で火事だと叫び、多くの人に消火活動への参加を促す

☆自分自身の安全確保を第一に考える。消火活動は３人以上で、(①筒先操作員、②伝令・ 筒先補助員、③吸水操作員)

①専用金具で消火栓のふたを開ける

・ 感電防止のため、ゴム長靴、ゴム手袋を着用する

・ 消火栓のふたを開ける時は、手足を挟まれないよう注意する

②ホースの延長（延長約８０ｍ：２０ｍ×4 本）

・ ホース結合状況を確認し余裕ホースを取って延長する

・ ホースの延長に於いては、巻かれたまま延ばすとねじれて十分な放水できません

③筒先を接続し火点に向け、構える

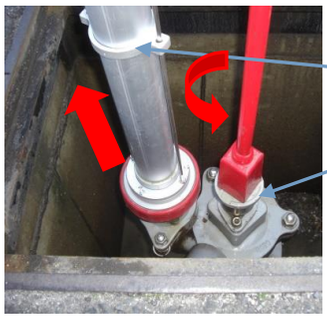
※筒先操作員は声や動作で放水の合図を吸水操作員に伝え,筒先を腰の位置でしっかりと保持する

※「火消し君」は大型消火器レベルです

・ 建物の内外に濃い煙が見えたら建物に入らない

・ 建物に入る場合は扉等を徐々に開放して室内の煙を確認する

・ 火が天井まで広がったら、建物から避難してください



④消火栓を開く

・ 消火栓の送水弁を開放する前に、スタンドパイプが吐水口に結合していることを十分確認し、筒先操作員の放水はじめの合図で徐々に回す

・ 消火活動中は、安全のため、消火栓から吸水操作員は離れない